

oro

サラブレッドの一大生産地・日高で活動する競走馬専門の獣医師、荒井さん。馬との暮らしを心から愛する彼女は、強い意志とひたむきな行動力で、壮大な夢を次々とかなえてきた。その開拓精神にあふれた人生のシーンを、いくつか。「既務員のアルバイトに明け暮れた高校時代。そして憧れの獣医に」大阪生まれの荒井さん。10歳から始めた乗馬をきっかけに馬に魅せられ、高校在学中には長期休暇のたびに、ひとりで日高へ行き、牧場で既務員のアルバイトをしてきたとか。卒業後は北海道で獣医学部に進学。この間も大学での勉強だけでは納まらず、週末ごとに日高の老舗家畜病院に通い詰め、競走馬の医療現場を実践的に学ぶ。「120キロ以上の道のりを、冬の凍った雪道でもバイクで通いました。今思えば無謀ですね(笑)」

「競走馬が第二の人生を送るための。夢の牧場」をつくりたい。大学卒業と同時に獣医師に。けれど徐々に、違和感が芽生え始める。「馬が好き」で始めたはずの仕事は、治療のためとはいえ、毎日毎日嫌がる馬を押さえつけるばかり……。これが本当に自分の望んだ日々だったのか……。そして荒井さんは、新たな夢を見つける。「引退した競走馬が駆け回り、人と触れあえる牧場をつくらう！」そして、小高い丘の上に農地を購入したのが28歳のとき。古い木造農家にひとり暮らしながら、乗馬コースも厩舎も仲間とともに手づくりした。2年後、「遊馬ランド・グラスホッパー」をオープン。「人と馬との理想郷を計画中」馬との生活に憧れ北海道へやって来る人々のために、今、荒井さんは新たな街づくりを進めている。「その名も、ランズルフット」。ドイツ語で「田舎の風」という意味です。住宅や厩舎などの環境面も、専門家のサポートシステムも整った、人と馬とが安心して暮らせる街。子供たちが自然に馬に触れあえるキッズファームもつくりたい。長年夢見ていた「理想郷」です。

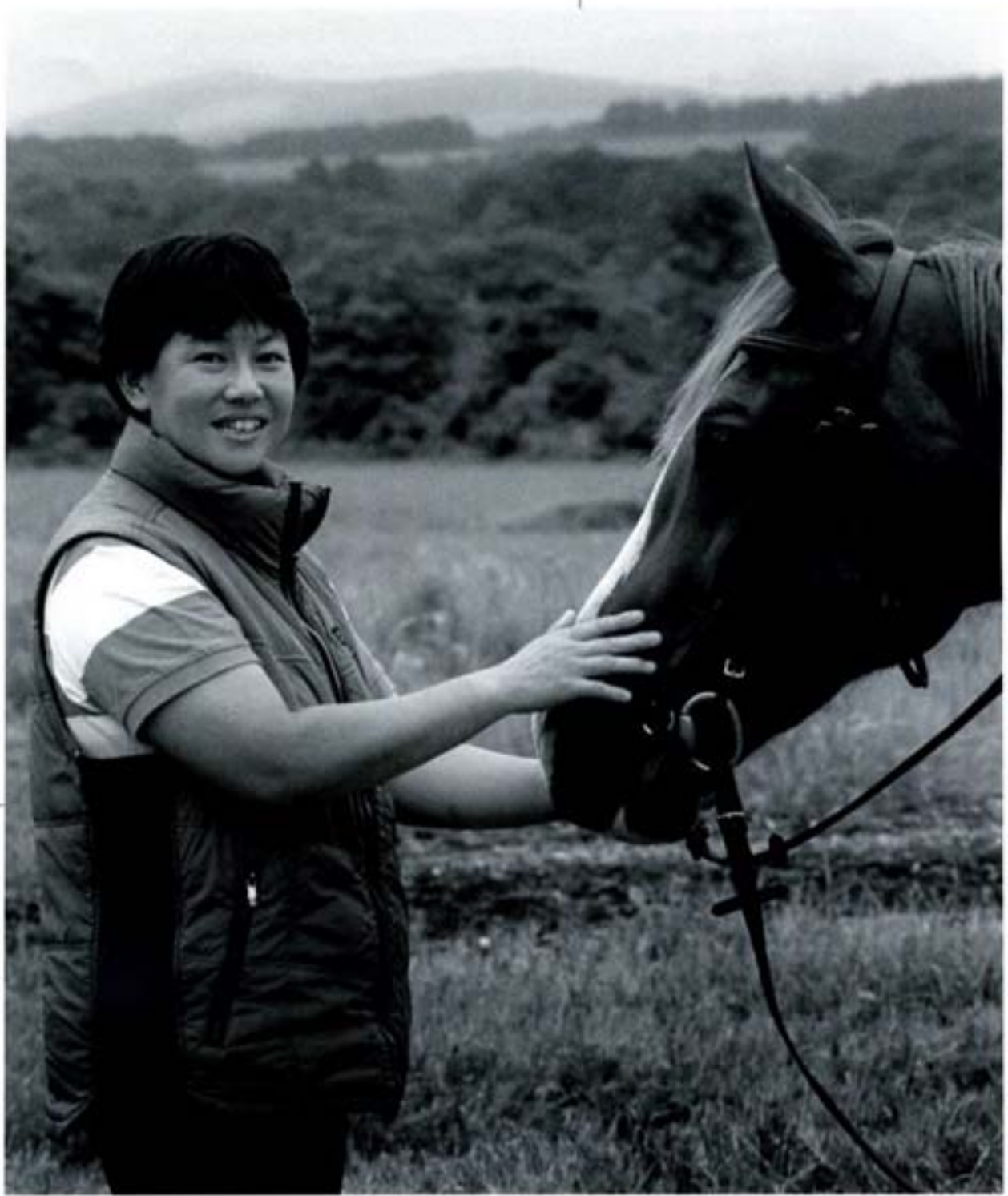
- 世界各国キャリアへ、5つの質問
- Q1 仕事を成功させるための縁起かつぎは？
山吹色を身につける。競馬の一等賞の色で、「グラスホッパー」のシンボルカラーです。
- Q2 バッグに必ず入っているもの3つは？
バッグ代わりの往診車には、馬のカルテ、靴(運転用、厩舎用、治療用の3種)、いつでも入浴できるようお風呂セットが積んである。
- Q3 あなたの街のストレス解消スポットは？
疑問や不満はその場でぶつけるタイプなので、ストレスはなし。周囲の人は大変かも(笑)。
- Q4 理想の週末の過ごし方は？
馬具屋めぐり。
- Q5 人に言われてうれしい褒め言葉は？
馬が完治して、牧場主や馬主さんから「また走れたよ、ありがとう！」と言われること。

人と馬との理想郷を 目指して。引退した 競走馬の第二の人生を サポートする獣医師

競走馬専門の獣医師、
「ノマドック」代表取締役
荒井亜紀さん

Profile

39歳。大阪府生まれ。北海道江別市の酪農学園大学獣医学部獣医学科を卒業。'92年からは日高で3代続く老舗家畜病院に競走馬専門の獣医師として勤務。4代目を継ぐとともに、'99年には引退した競走馬のための乗馬トレッキング施設「遊馬ランド・グラスホッパー」を設立。現在は社名を「ノマドック」に変更し(ノマド=遊牧民+ドクター=医師の造語)、日高のみならず全国を往診で飛び回る日々を過ごす。1女の母でもある。



撮影/渋谷文廣 取材/葛西麻衣子(亜瑠西社)

仕事も人生ももっと楽しく/美しく/
Life is so
precious!